

お知らせ

2021年8月23日
九州電力株式会社

玄海原子力発電所の新燃料輸送（2021年度1回目）が完了しました

— 2号機から36体の新燃料を搬出 —

当社は、廃止措置段階である玄海原子力発電所1，2号機に貯蔵中の新燃料について、燃料集合体中のウランを当社で再利用するため、海外の燃料成型加工工場へ搬出することとしています。

8月21日、下記のとおり今年度1回目の新燃料の輸送が完了しましたので、お知らせします。

記

1. 輸送期間 2021年8月3日～8月21日
2. 輸送物
 - (1) 輸送数量（容器個数）
36体（18個）
 - (2) 輸送物の種類
A型核分裂性輸送物[※]
3. 輸送先 米国フラマトム社 リッチランド工場
4. 輸送方法 陸上輸送及び海上輸送

※ 輸送にあたり、臨界とならないように措置をとる必要のある輸送物で、放射エネルギーの少ない順にA型、B型に区分される。
(新燃料：A型、使用済燃料：B型)

以 上



ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」

そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。